

「いつも先生の後ろにある書は？」

● yoshi さんからの質問

後ろに飾ってある書は何と書いてあるのでしょうか？また誰の書でしょうか？

● 西田昌司の答え

いずれこの質問が来るだろうと思っていました。これは、私の尊敬する日本 BE 研究所の所長の行徳哲男先生——人生の一番大切なところを教えてくださいくださった私の老師です——から頂いた書を額装したものです。

天その人に災いするは、天いまだその人を捨てざるなし。
微妙大師（みみょうだいし 禅僧、妙心寺二世、1380 年没）

人生には艱難辛苦が付き物ですが、「お前がこの世の中にまだ必要だから災いがあるのだ。それを乗り越えてこそ、お前の価値があるのだ」とこの書は言っています。

誰しも生きていれば、時に苦しい場面に直面することは避けられません。もちろん私も例外ではありませんが、そのような時にはこの言葉を思い出して、「天が私を試しているのだ。私を求めているのだ」と前向きに捉えて頑張っていこうと思っています。人生のエネルギーを与えてくれる書です。

しかし、この書の言わんとするところが本当に理解できるようになるにはかなりの時間が必要ですし、本音を言えば、突然にとんでもない艱難辛苦に見舞われたら誰もがそこから逃げ出したいものです。でも、逃げられないし、それを乗り越えるしか道はありません。人生にはいろいろとあります

が、ともに頑張っていきましょう。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>